

<金標準、17日の債務上限リスクまで下値追い・・・>



(出所：オアシス)

イスラエル軍がガザ地区北部を完全包囲し、都市部のハマス拠点に向け哨戒作戦を実行しながら、市民の非難のため1日に4時間の休戦を行うと発表している。特に中東情勢では当初懸念されたイランやレバノンへの戦争拡大の動きは見受けられず、ガザ地区北部での戦争地帯が限定されており、原油価格は戦争勃発の前の82ドルを下回る75ドルで推移するなど戦争プレミアムは剥げ落ちている。特にNY金は一時2000ドルを超えるなど戦争プレミアムを織り込む動きを見せたことから、週末には金利高やドル高に反応するなど、1936ドルまで下げている。そのことから金標準先物も9700円から9427円まで下落を行うなど、目先の調整の動きへ移行した状態に思え、9300円台を試す様に思われる。

しかし大手格付け会社ムーディーズは米国の格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ引き下げを行うなど週末17日には債務上限期限が迫る事から、米国政府機関の一部の閉鎖リスクが高まるだけに、週末に向けて下値追いを示し下げ渋る展開へ変化すると思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDやRCIでは、MACDはMACDとシグナルが下げながら、RCIでは短期が下げて、長期は切り下げている。そのため日足は10日移動平均線を下回りながら40日移動平均線が位置する9239円へ向けて下値を試す様に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,360,000 円(2023 年 11 月 13 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2023 年 11 月 13 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>